

1-2 エネファームのコストダウン・コンパクト化・高効率化技術

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」のコストダウン、コンパクト化、高効率化に資する技術

内容

- エネファームの更なる普及のため
 - ・コストダウン化
 - ・コンパクト化・軽量化
 - ・高効率化
 に資するご提案
- 対象部材は、

・熱交換器
・ラジエーター

要求仕様

		熱交換器	ラジエーター
1次側 流体	性状	燃焼排ガス	水（水道水）
	温度	150℃～250℃	100℃未満
2次側 流体	性状	水（水道水）	外気
	温度	～80℃	外気温成り行き
部品容積		約0.6L以下	約3L以下
共通要件		腐食による漏れ等がないこと	

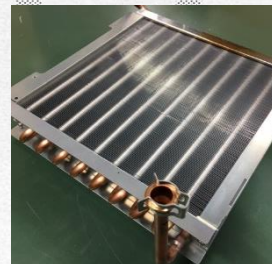


参考資料

「家庭用燃料電池システム関連補機類の共通仕様リスト」2010年3月
独立行政法人 新エネルギー・産業
技術総合開発機構

<https://www.nedo.go.jp/content/100079684.pdf>

参考写真（左：熱交換器、右：ラジエーター）



累計販売台数 全国35万台(大阪ガス:14万台)
年間5万台の市場(全国)
2030年 530万台（水素燃料電池戦略ロードマップ）

備考

補機類については補機の構成部品ではなく、補機そのもののご提案をお願いします。